

ています。

③就学^{しゅうがく}りつのうつりかわり

学校にかよう^{ねんれい}年齢の子ども^{ぜんたい}全体のうち、どのくらいの割合^{わりあい}の子どもが学校に行^いったかをあらわしたものをしゅうがくりつといます。

明治6年(1873)にはしゅうがくりつは男子がやく46パーセント、女子はやく17パーセントほどでした。明治33年(1900)の小学校がぎむ^{せい}制になったときには81.5パーセントのしゅうがくりつになっていました。今はほとんど100パーセントです。

(7) 村にある古いもの

○文化財^{ぶんかざい}

東村^{きょういく いんかい}教育委員会では、村文化財^{むらぶんかざい}保護調査^{ほごさうさ}委員会^{いんかい}がきめた^{そんない}村内^{かしよ}12ヶ所の文化財^{ぶんかざい}のあるところに、由来^{ゆらい}や造^{つく}り、年代^{ねんだい}をつけたあん^{ない}内板^{ばん}をたてています。

①十一^{めん}面^{ぞう}かんのん像(かりしきざか)

かりしき^{さか}坂の左手、石だんを少しあがると小^こ高^{たか}い山^{かみ}上にでます。すぐ右に新開^{しんかい}山十一^{おん}面^{おん}かんぜ音^{おん}ときざまれた^ひ碑^いがあります。正面^{しょうめん}に本堂^{ほんどう}がありますが、本尊^{ほんぞん}はいまかりしき坂^{こう}公民^{みん}かん^{かん}に納^{おさ}められています。かんのん^{どう}堂^{どう}は、はじめ^{どう}堂^{やま}山(道山)にありましたが、のち^{こう}光明^{みょう}寺^じにうつされ、大正2年かりしき坂^{あん}にうつり安^{あん}ちされました。けいだいにはむかし^{ばん}道山^ひの北、あぶくま川の南岸にあった^{ばん}板^ひ碑^いがあります。土地の人は「ふっとうば」と呼んでいます。また12^き基^きのばとう^{おん}かんぜ音^{おん}の墓^ぼ碑^いがあり、支那^{しな}事変^{じへん}に出た^で従軍^{じゅうぐん}馬^ばもほうむられています。

②熊野^{くまの}神社^{じんじゃ}の大杉^{すぎ}(ふかにいだ)

ふかにいだ西口のバス^{じよ}ていりゅう所^{じよ}をおりて5分。県道の南に見える大杉がそれです。げんろく杉ともいっておよそ300年たっています。